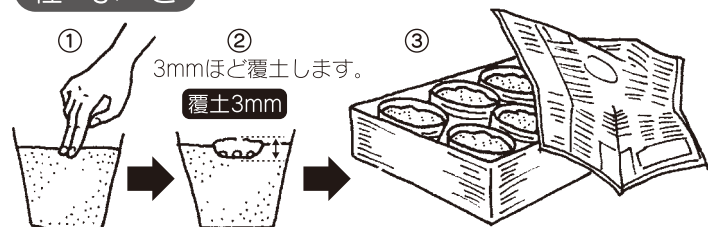


1 苗の準備

種まき

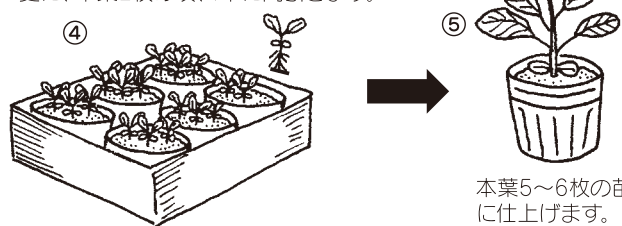


指先で軽くおさえ、浅くぼみをつけて1穴に3粒の種をまき覆土します。

発芽するまで新聞紙をかぶせておきます。

間引き

発芽そろいの頃、2本に間引きます。更に、本葉2枚の頃、1本に間引きます。



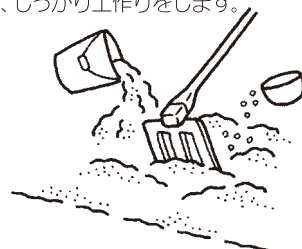
本葉5~6枚の苗に仕上げます。

2 畑の準備

土作り

カリフラワーは比較的多肥を好む作物です。植え付けの2週間前には、苦土石灰、堆肥をまき、しっかり土作りをします。

土作り
・苦土石灰: 1㎡あたり100g
・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg



元肥・うね立て

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。

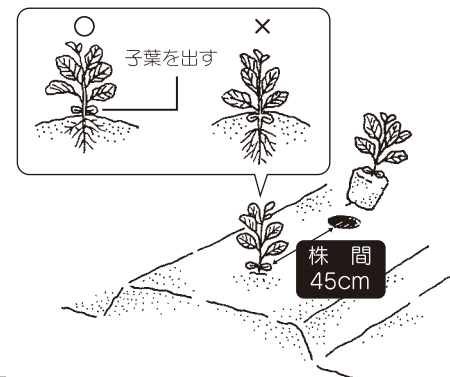
※アブラナ科の作物の連作は避ける。(2~3年)

元肥
・JAファームやさいの元肥: 1㎡あたり200g (ひと握り約40~50g)



3 植え付け

本葉5~6枚で植え付けます。深植えに気をつけ、根鉢を崩さないように植え付けます。植え付け後は、たっぷりかん水をします。



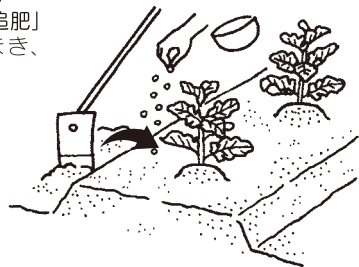
4 敷わら

定植後、株元にわらや刈り草などを敷いて乾燥を防ぎます。

5 追肥・土寄せ

1回目の追肥は、植え付けの1週間後に行い、その20日後に2回目の追肥と土寄せを行います。

●第1回目追肥 (植え付け1週間後)
「JAファームやさいの追肥」1㎡あたり約20gをまき、土寄せを行います。



●第2回目追肥 (1回目の20日後)
第1回目と同量の追肥を行い、併せて土寄せも行います。

6 病気・害虫

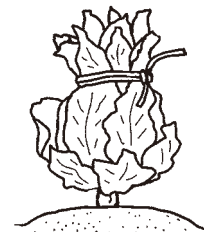
主な病気・虫

- ・軟腐病
地ぎわの葉柄や茎がドロドロになり悪臭を放つ病気です。
- ・黒腐病
葉にV字形の黄褐色の病斑が現れ、場合により花蕾が黒ずみます。
- ・コナガ
幼虫は小さいのですが動きが活発です。
- ・オオタバコガ
幼虫には黒点が並んでいて、毛が生えています。葉や花蕾部を移動しながら食べます。
- ・タマナギンウワバ
不規則な穴を葉にあげます。幼虫はシャクトリムシのように歩きます。

2つの病気とも、高温や多湿の時期に発生が多く、傷口から感染することが多いので、病害や害虫の防除は定期的に行いましょう。

7 収穫

花蕾が卵くらいの大きさになったら着色・寒さから守るため、花蕾を包むように葉を束ねてひもで結ぶか、葉を折って花蕾を覆いましょう。花蕾の大きさが15cmほどになったら収穫します。収穫してから時間がたつと食味・栄養価が落ちるので早めに利用しましょう。オレンジ・バイオレットの品種は結束や葉で覆う必要はありません。



花蕾を包むように葉を束ねる



または、葉を折って覆う (強風のときは注意しましょう)

科名	アブラナ科
原産地	地中海東部沿岸
連作障害	あり(2~3年)